

もやい 令和3年度 第10回定例会議事録

日時 : 10月1(木) 13:00~14:30

場所 : 市民活動支援センター

出席者 : 田中、大福、廣川、石見、添田、久保田、(欠 平井、植村)

【1】通所サービスC+訪問サービスDの事業(市協定事業と言う)

(1)正式に活動がスタート:

9月28日(月)1人目の担当者会議開催

29日(火)2人目の担当者会議開催

29日(火)市より3人目の利用者の連絡あり

*担当者会議

- ・ケアマネージャーが利用者の身体の状態を確認し、元の暮らし方が出来るよう、計画的にリハビリを行い、機能回復を目指す事項を作成したケアプランの内容確認
- ・ケアプランの内容が正しいか、関係者が一堂に会し状況の確認を行う
- ・ケアプランに基づき具体的な通所日程などを確認

*利用者の住所・通う施設などが具体的になると、送迎の時間配分が明確になり、課題も見えてきた。

- ①西部地区は道路が少なく、大回りしなければ施設へ行けない
 - ②リハビリ時間は60分であり、待ち時間が発生する
 - ③現時点では安全管理上、送迎はケアセンター八王子のみとする
 - ④将来地域の登録団体も出来るよう、もやいが通所C移動・送迎支援マニュアルを作成する(添田)
 - ⑤通所Cの送迎は総合事業として行うので、レベルの高いサービスの質が要求される
特に知らない人の送迎であり、事前に面談(担当者会議)などケアプラン等の知識が必要
- ・「八王子市通所型短期集中予防サービス」支援者向け必読マニュアル **Re-ablement** 参照
<https://onedrive.live.com/?id=629AFC71CF1A30FC%21656&cid=629AFC71CF1A30FC>

【2】第1回勉強会について

目的:第2層生活支援コーディネーターへの働きかけ

①日時:10月14日(水)13:30~15:00

②各講師のテーマ:服部先生、伊藤先生、辻野主査、包括片倉:佐藤センター長

- ・佐藤さんから、
高齢者の外出ニーズ(自粛による影響も含めて)を提起(現状の報告)
- ・辻野さんから、
 - ・市が施策づくりで応援すること、
 - ・なぜ住民が移動・送迎支援に取り組まなければならないのか
 - ・住民主体による移動・送迎支援の効果
- ・服部さんから、
SCさんが総合事業を含めて武器(by 辻野さん)を増やし、訪問Bの団体が移動・送迎支援を通じて活性化していく道
- ・伊藤さんから、
そのお手伝いをするのが中間支援組織である「もやい」の役割
- ・デスクッション(進行;伊藤さん、ファシリテーター:服部さん)

③場所:労政会館 3F 第4会議室(定員:35人)

④参加者: 第2層生活支援コーディネーター(12)、CSW(6)、包括担当者(5)、B登録団体(5)、
講師(4)、もやい(6) 合計:38人(調整が必要)

・参加者の決定:登録B団体などの出席団体等の決定(もやい、森山さんで調整)

【3】2021年度事業計画について(八王子市福祉部へ提出?)

①2021年度予算計画(別紙参照)(市の担当者を刺激したくないのでマル秘事項とします)

・大福の試案であり、願望の詰まった予算です。

(伊藤さんの話では、コロナ過の影響で2021年度予算は一律30%カットを予定)

その対策として日本財団(通常募集)、WAM助成も検討する

①日本財団(通常募集) 締め切り:2020年10月30日、発表:2021年3月郵送で通知

・助成金額:上限200万円

・補助率:80%以内

・事業費:アルバイト費用、交通費、委託費、備品費、印刷費など

②WAM助成(2020年度通常助成事業:136事業 総額:570,545 最高:900万円)

・2021年1月説明会開催予定?

・締め切り:2月末、結果発表:4月頃

・助成率額:100%

【4】その他

①SOMPO福祉財団の助成金申請(パソコン、プリンター)

・募集要項(申込期間 9/1~10/9)

・パソコンの購入(申請合計 345,000円)

②日本財団・福祉車両の申請(締め切り 9月25日ネットにて) ケアセンターの都合で申請見送り。

③第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けて(要望書の提出)

・事前に立川課長に提案(ついでに福祉有償事業の勉強会の開催も提案)

④東京高専・GPSロガー設置と試運転

・データ活用の詳細・予定

<次回定例会>

日時 : 2020年10月15(木) 13:00~15:00

場所 : 八王子市市民活動支援センター

以上

2021年度移動・送迎支援センター(仮称)運営計画 (2020/09/27 大福私案)

はじめに

「もやい」が第1層生活支援コーディネーターを受けるには、他の団体と決定的に条件が違うことを念頭に考えなければならない

- ①活動場所(事務所)がない
- ②常勤者がいない
- ③通信設備等がない
- ④雑務を行うスタッフがない(ボランティアでのカバーには限度がある)

(事業の継続性)

今回の事業を行うには運営の責任体制をしっかりとするため、ケアセンター八王子の協力がなければ、運営不可能と考える。コーディネート事務、スタッフのスキルレベル、利用者とのコミュニケーションなど、現在の登録B団体だけでの運営は不可能、まして継続的な活動では先々に不安がある。(ボランティアでは無理)

ケアセンター八王子を中心とするには、ケアセンター八王子は事業として行っており、経営上の採算が必要である。また社員を適度の処遇が出来なければスタッフの士気にも影響し、事業の継続はできない。

(人材の育成)

運営上の責任者(第1層生活支援コーディネーター)がボランティアで行うのはリスクが大きすぎる。地域共生社会は包括ケアシステム構築上もとても重要であり、しっかりした事務所とその運営責任者の設置が不可欠です。この機能が充分発揮されれば、介護保険・総合事業としても十分採算撮れるはずである。また、もし専門家を配置できれば「もやい」の事業として福祉有償運送をスタートさせたい。そのターゲットは障害者運送と高齢者福祉運送です。また八王子市独自の福祉運送の運営協議体を立ち上げ、その事務一切をもやいが引き受けることも視野に入れたいと考えています。今のままでは福祉有償運送の将来は見えません。ここのテコ入れも必須の事業です。この2つの事業に取り組みたいと思います。

「もやい」としての事業と移動・送迎支援センターとの事業が混じっていますが、今後調整可能と考えます。センターとしての独立採算は難しく一緒に運営が不可欠です。

(サービスレベルの維持・向上)

現在は「もやい」が各種資料の収集、分析や各種提案を行っているが、この事業の継続にはこのような研究が不可欠であり、現在の体制の維持も考慮する必要がある。この事業は活動する人たちの生きがいを見いだす活動をすることが継続には必要と考える

④「もやい」の理想はかなり高いレベルにあると考えています。それが「もやい」のメンバーの誇りでもあり生きがいでもあります。しかし、後継者の育成には見通しが立たず、ボランティアでの活動ではなく、専門家に運営をゆだねるしかない状況です。早急な対応が必要と考えます。

【1】全体予算

大科目	中科目	中科目合計	小科目	小科目合計
直接経費	旅費	416,400	旅費交通費	416,400
	人件費	3,909,600	直接人件費	3,769,600
			外部人件費	140,000
	一般業務費	1,991,000	車両関係費	0
			消耗品費	96,000
			ソフトウェア購入費	0
			通信運搬費	123,000
			印刷製本費	276,000
			保険料費	254,000
			会議費	36,000
			会費	0
			広告宣伝費	120,000
			図書費	18,000
			教育研修費	18,000
			雑費	1,050,000
	機材費	0	機材購入費	0
			機材運搬費	0
業務委託費	3,680,000	—	3,680,000	
その他	0	租税公課費	0	
			合計	9,997,000
事業収入	①講習会受講料(5,000円×70人)		350,000	
	②各種手続きの事務代行による収入		50,000	
	③新しい事業による収入		100,000	
	合計		500,000	
			差引金額	9,497,000

- ① 10,000,000円を超えると消費税がかかるので、10,000,000円以下に抑えた
- ② かなり高額になるが、活動に係る基本的な費用（事務所費、パート代など）は他では賄えない
- ③ 自主事業収入を500,000円としたが、運転者講習をいかにして増やすかにかかっている
- ④ この事業で切れ目のないサービスを提供するには常勤者が必要（パートで対応）
- ⑤ 持続可能な事業を行うためには「もやい」のメンバーの協力は不可欠（一般管理費）

【2】旅費・交通費

実施項目	小科目	小科目別合計	積算明細								小計			
1. 定例会出席旅費	旅費交通費	171,600	センター長通勤費											
			自宅 ⇄ 移動支援センター(25日出社)											
			1,100 × 13 日 × 12 ヶ月											
			= 171,600											
	旅費交通費	100,800	定例会出席のための旅費(もやいスタッフ)											
			自宅 ⇄ 移動支援センター											
			700 × 6 名 × 24 回											
			= 100,800											
	旅費交通費	144,000	各種打合せ											
			自宅 ⇄ 市役所など(センター及びもやいスタッフ)											
			1,200 × 10 回 × 12 ヶ月											
			= 144,000											

①交通費は車中心の移動になるが、公共事業運賃をもとに積算した

【2】人件費

実施項目	小科目	小科目別合計	積算明細								小計				
事業運営担当者	直接人件費	1,872,000	第1層生活支援コーディネーター(週3日、勤務 6h/日)												
			2,000 × 6 時間 × 13 日 × 12 ヶ月												
			= 1,872,000												
	直接人件費	1,587,600	パート賃金(週5日、勤務6h/日)												
			1,050 × 6 時間 × 21 日 × 12 ヶ月												
			= 1,587,600												
	直接人件費	40,000	事業報告書執筆謝金												
			10,000 × 4 人 × 1 回												
			= 40,000												
	直接人件費	150,000	出前講習会講師謝金												
		5,000 × 3 人 × 10 回													
		= 150,000													
直接人件費	120,000	ホームページ管理費													
		10,000 × 1 人 × 12 ヶ月													
		= 120,000													
外部人件費	100,000	アドバイザー料													
		50,000 × 2 人 × 1 回													
		= 100,000													
外部人件費	40,000	勉強会講師謝礼													
		10,000 × 2 人 × 2 回													
		= 40,000													

①第1層生活支援コーディネーターの賃金は業務委託費が高額となり、減額した

②パート賃金は車の受け渡し、引き取り、サービスCのコーディネート、データ整理などの費用

③課題解決、長期構想などアドバイザーを必要とする

【3】業務委託費

実施項目	小科目	小科目別合計	委託先	積算明細								小計		
3. 計画的な送迎支援	業務委託費	360,000	移動・送迎支援活動団体	移動・送迎支援活動										
	業務委託費	2,520,000	ケアセンター八王子	移動・送迎支援活動(利用者25人/月、5回/日の往復)										
	業務委託費	800,000	「もやい」	一般管理費										

①ケアセンターが行うサービスCの活動費は片道1,000円の謝金(活動費)を支払う

・この金額ではケアセンターとして採算割れを生じる?

②今までの団体の活動費は大幅に減額する (750円 ⇒ 500円/回) 今までは1,500円/時間で計算

・団体に支払う活動費は市が直接団体へ定額で補助するケースも提案したい

③「もやい」の管理費を請求する(事業を継続するために必要な費用)

【4】業務管理費

実施項目	小科目	小科目別合計	積算明細										小計					
	印刷製本費	180,000	講習会テキスト印刷代	1,500	×	120	冊									=	180,000	180,000
	印刷製本費	96,000	各種資料コピー代	20	×	400	枚	×	12	ヶ月						=	96,000	96,000
	広告宣伝費	120,000	パンフレット(啓発用)制作費	120	×	1000	枚	×	1	回						=	120,000	120,000
	消耗品費	96,000	事務用品費	8,000	×	12	ヶ月									=	96,000	96,000
	会議費	24,000	会議のお茶代など	1,000	×	24	回									=	24,000	24,000
	会議費	12,000	勉強会開催会場費	4,000	×	3	回									=	12,000	12,000
	保険料費	204,000	移動支援サービス事業用自動車保険	1,700	×	10	日	×	12	ヶ月						=	204,000	204,000
	保険料費	50,000	市民活動保険代(傷害保険、賠償保険)	50,000	×	1	回									=	50,000	50,000
	通信運搬費	108,000	携帯電話代	9,000	×	12	ヶ月									=	108,000	108,000
	通信運搬費	15,000	レターパック、切手など	15,000	×	1	回									=	15,000	15,000
	図書費	18,000	参考書購入費	3,000	×	6	冊									=	18,000	18,000
	教育研修費	18,000	セミナー参加費	2,000	×	3	名	×	3	回						=	18,000	18,000
	雑費	480,000	事務所等借用費(事務スペース、会議スペース)	40,000	×	12	ヶ月									=	480,000	480,000
	雑費	360,000	駐車場借用費(3台)	30,000	×	12	ヶ月									=	360,000	360,000
	雑費	120,000	光熱費	10,000	×	12	ヶ月									=	120,000	120,000
	雑費	40,000	その他の雑費	40,000	×	1	回									=	40,000	40,000
	雑費	50,000	書類収納庫	50,000	×	1	回									=	50,000	50,000

- ①車両代は別予算とする（市の無償貸与、TMFからの継続支援など）
- ②車両代は除外したが、駐車場は必要
- ③事務所関連経費は絶対に必要な費用（ネット環境は除く）
- ④移動支援サービス事業用自動車保険の契約にはいくつかの条件がある
- ⑤印刷製本費はもっと増えそうに感じている（本来ならコピー機を導入したい）

以上